

環境活動レポート

《運用期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日》



発行：令和 7年 4月 13日

有限会社 會澤工業

I 事業概要

1、事業所名及び代表者名

有限会社 會澤工業
代表取締役 会沢光男

2、所在地

本社: 静岡県駿東郡小山町竹之下2854-4
資材倉庫: 静岡県駿東郡小山町竹之下3024

3、環境管理責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 会沢雄大
担当者
連絡先 TEL 0550-76-0050
FAX 0550-76-1235

4、許可の内容

<廃棄物業>

NO	産業廃棄物収集運搬業			許可品目								
	都道府県	許可NO	許可年月日 及び 有効期間	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス	コンクリート	陶磁器くず	がれき類
1	静岡県	第02201064371号	令和6年9月3日	○	○	○		○		○		○
			令和11年9月2日	※1						※1		※1
2	神奈川県	第01404064371号	令和7年2月18日	○	○	○	○	○		○		○
			令和12年1月25日	※1						※1		※1

※1: 石綿含有廃棄物含む

NO	一般廃棄物収集運搬業			許可品目								
	静岡県小山町	第11号	許可年月日 及び 有効期間	一般廃棄物(ごみ)の収集・運搬								
1			令和6年4月1日 令和8年3月31日									

<建設業>

一般建設業許可			
請負金額500万円以上の建設工事請負可能	(般一23)27116号	令和3年10月30日	令和8年10月29日

5、事業の規模

資本金 300万円

平成 8年 4月: 個人事業から法人化
平成10年 4月: 小山町一般廃棄物事業参入
平成17年 4月: 神奈川県産業廃棄物収集運搬処理許可取得

		単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
売上高		百万円	50	40	55	25	28
処理実績	一般廃棄物収集運搬	t	1334	1065	1080	900.68	913.25
	産業廃棄物収集運搬	t	633	137	1769	41.67	43.05
従業員数		人	7	7	7	5	5
述床面積		m ²	1650	1650	1650	1650	1650

6、保有設備

パッカー車 6台
平ボディー車: 2t車3台 4t車3台
バックホウ 2台

7、対象範囲

活動: 一般及び産業廃棄物の収集・運搬、土木工事、水道工事、再生資源の回収
対象組織: 本社

環 境 方 針

〔環境経営理念〕

有限会社 會澤工業は、自然豊かな小山町に位置し、一般・産業廃棄物の収集運搬を通じ、美しい近隣の自然、さらには地球環境を守るために、地球環境を配慮し、積極的に環境保全に取り組む企業を目指します。

〔基本方針〕

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

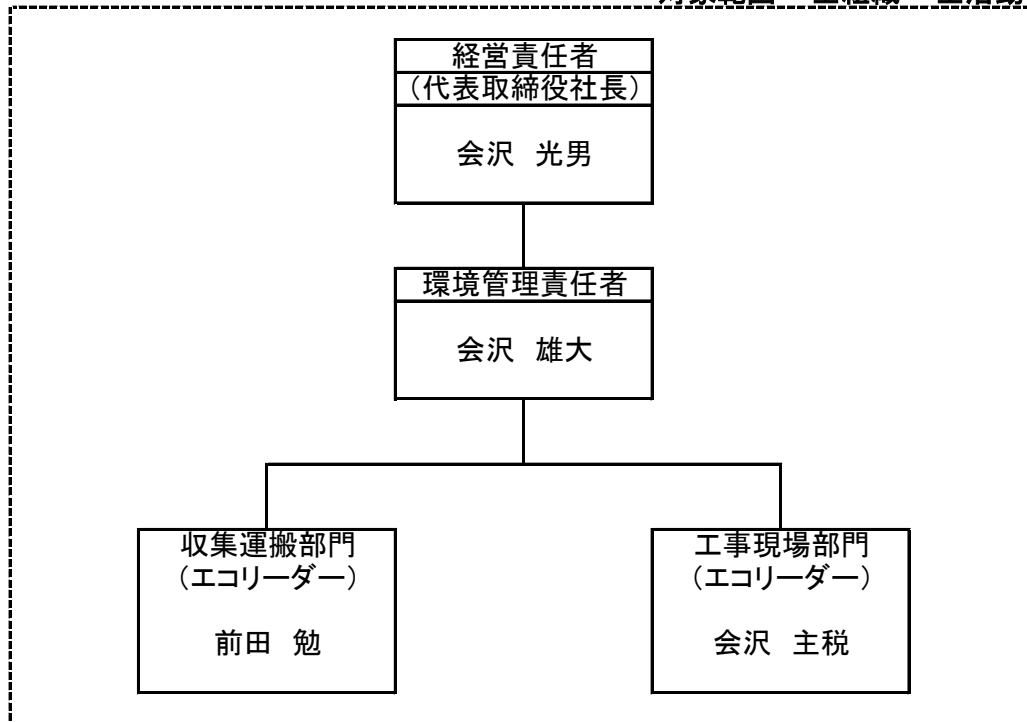
1. 全員で環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
 - 1) 電気、軽油、ガソリンの省エネルギー活動の推進。
 - 2) 3R活動の展開による廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
 - 4) 一般廃棄物のリサイクル率の向上
2. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法及びその他の規制を遵守します。
3. 環境に配慮した物品の調達と地域社会への貢献
 - 1) 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます。
 - 2) 廃棄物排出事業者、住民に対して分別排出の指導・支援に努めます。
- 4) 環境コミュニケーションの積極的实施
社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践します。

社内においては、全従業員に、この環境方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取組を展開します。

制定	2013年4月1日
有限会社	會 澤 工 業
代表取締役社長	会沢 光男

(有) 會澤工業 環境管理組織図

対象範囲 ・全組織 ・全活動



《環境管理組織における機能》

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築
- ⑤経営の課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への推進状況報告
- ⑤各部門のデータのまとめ
- ⑥活動計画の予実績管理
- ⑦環境負荷・環境への取り組みの自己チェックの実施
- ⑧法規制最新版管理
- ⑨文書・記録の管理

各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④従業員教育

環境目標

◎環境目標（中期）

※2015年度を基準年度とした比を示す。係数0.376kg—co2

項 目	単位	2015年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	kg・c	48,276	-7%	-8%	-8%
電力	KWH	9,039	-7%	-8%	-8%
ガソリン	L	1,900	-7%	-8%	-8%
軽油	L	15,190	-7%	-8%	-8%
古紙・アルミ缶 回収量増大	古紙	t	113	+7%	+8%
	アルミ缶	t	14	+15%	+16%
建設副産物	総量	t	—	実績把握	実績把握
	リサイクル率	%	—	90%以上	90%以上
グリーン購入率	%	25	+10%	+10%	+10%
一般廃棄物削減	t	0.48	-5%	-6%	-6%
総排水量削減	m³	72	-5%	-5%	-5%

◎環境目標（運用期間目標）

項 目	単位	2015年度 (基準年)	2024年度 (目標)	2024年度 (目標値)
二酸化炭素排出量	kg・c	48,276	-7%	44.896
電力	KWH	9039	-7%	8406
ガソリン	L	1900	-7%	1767
軽油	L	15190	-7%	14126
古紙・アルミ缶 回収量増大	古紙	t	113	120
	アルミ缶	t	14	16
建設副産物	総量	t	—	実績把握
	リサイクル率	%	—	90%以上
グリーン購入率向上	%	25	+5%	26
一般廃棄物削減	t	0.48	-5%	0.45
総排水量削減	m³	72	-5%	68

二酸化炭素排出係数：0.376Kg—CO2 令和6年度 東京電力

環境経営目標の実績とその評価、次年度環境経営目標

1)運用結果

項 目		単位	2015年度 (基準年)	2024年度 目標	2024年度 実績	評価	割合
二酸化炭素排出量		kg・co2	48,276	-8%	40,569	○	-16%
	電力	KWH	9,039	-8%	7,257.6	○	-20%
	ガソリン	L	1,900	-8%	1,492.	○	-22%
	軽油	L	15,190	-8%	13,085	○	-14%
古紙・アルミ缶 回収量増大	古紙	t	113	+8%	152.3	○	+34%
	アルミ缶	t	14	+16%	18.5	○	+32%
建設副産物	総量	t	-	実績把握	0		
	リサイクル率	%	-	90%以上	0		
グリーン購入率向上		%	25	+10%	30	○	+20%
一般廃棄物削減		t	0.48	-6%	0.24	○	-50%
総排水量削減		m³	72	-5%	60	○	-17%

2022年度より建設副産物リサイクル率目標は全品目に展開

2)環境目標の達成状況の評価と是正・予防処置

活動項目	達成状況	区分	原因及び処置又はコメント
二酸化炭素削減	○	評価	エコドライブ・経路の最適化・積み荷に見合う車種の選択を適切に行い、燃料を削減した。
古紙・アルミ缶回収	○	評価	地域社会と一体となった回収活動の結果目標達成
建設副産物リサイクル率		評価	建設副産物排出量 0
グリーン購入	○	評価	事務用品を中心に環境配慮品を優先購入している。今後も継続実施する。
一般廃棄物削減	○	評価	一般廃棄物の分別・リサイクル活動の結果大幅削減
総排水量の削減	○	評価	節水活動の徹底化により削減

3)次年度目標

項 目	単位	2015年度 (基準年)	2025年度	
			目 標	目標値
二酸化炭素排出量	kg・co2	48,276	-10%	43,448
	電力	KWH	-10%	8,135
	ガソリン	L	-10%	1,71
	軽油	L	-10%	1,367
古紙・アルミ缶 回収量増大	古紙	t	+15%	129.9
	アルミ缶	t	+17%	16.3
建設副産物	総量	t	—	実績把握
	リサイクル率	%	—	90%以上
グリーン購入率向上	%	25	+10%	27.5
一般廃棄物削減	t	0.48	-6%	0.45
総排水量削減	m ³	72	-5%	69

評価日 令和 7年 4月 10日

2024年度 環境目標 ・ 環境活動計画 / 評価表(令和6年4月1日～令7年3月31日)

環境目標	達成手段	実施責任者	実施担当者	実施スケジュール			
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
二酸化炭素の削減 2015年度比 8%削減	エコドライブを常に意識する	会沢光男	全員				
	法定速度厳守	会沢光男	全員				
	不要な照明の消灯の徹底	会沢光男	全員				
古紙・アルミ缶回収量増大	新規排出事業者開拓	会沢光男	全員				
	ストックヤードを利用しやすく整備する	会沢光男	全員				
一般廃棄物削減	コピー用紙の削減 廃棄物の分別	会沢光男	全員				
建設副産物のリサイクル	解体時分別排出の徹底 リサイクルルート探索	会沢光男	全員				
排水量の削減	こまめな止水の実施 排水桝の清掃	会沢光男	全員				
グリーン購入率の向上	物品購入時に確認する	会沢光男	全員				
実施状況 評価	評価基準	—	—	上記手段の完全実施			
	実績	—	—	○	○	○	○
	評価	—	—	解体工事が無かったため、建設副産物は評価無し。 その他の目標は、実施できた。			
評価者	—	—	—	会沢光男			

* 建設副産物のリサイクル活動追加 ※令和6年度は、解体工事受注無し

作成日 令和 7年 4月 1日

2025年度 環境目標 ・ 環境活動計画 / 評価表(令和7年4月1日～令8年3月31日)

環境目標	達成手段	実施 責任者	実施 担当者	実施スケジュール			
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
二酸化炭素 の削減 2015年度比 8%削減	積荷重量の最適化	会沢光男	全員				
	法定速度厳守	会沢光男	全員				
	不要な照明の消灯の徹底	会沢光男	全員				
古紙・アルミ缶回収量増大	新規排出事業者開拓	会沢光男	全員				
	ストックヤードを利用しやすく 整備する	会沢光男	全員				
一般廃棄物削減	コピー用紙の削減 廃棄物の分別	会沢光男	全員				
建設副産物のリサイクル	解体時分別排出の徹底 リサイクルルート探索	会沢光男	全員				
排水量の削減	こまめな止水の実施 排水桝の清掃	会沢光男	全員				
グリーン購入率の向上	物品購入時に確認する	会沢光男	全員				
実施状況 評価	評価基準	—	—	上記手段の完全実施			
	実 績	—	—				
	評 価	—	—				
評価者	—	—	—	会沢光男			

環境関連法規制の遵守状況

1. 環境関連法規制の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	運用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との受託契約	契約書の締結	○
	マニフェストの管理	B2表、C2表、D票、E票の返却	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内又は、180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	走行時リヤゲートを閉める	○
	保管場所への啓示	看板の啓示	○
	許可と許可書の更新	5年間	○
道路交通法	交通法規の遵守、点検実施		○
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫他	○
環境基本値	一般的な自主努力		○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物のうち、有用な物の循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般責務	○
自動車リサイクル法	引き取り業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
建設リサイクル法	解体時に出るコンガラ、鉄、木材	リサイクル業者への搬入	○
騒音・振動規制法	地域住民との取り交わし	時間帯等規制	○
上下水道法	給水設備、浄化槽設置		○
建設業法	登録・更新	5年毎	○
建築基準法	解体工事に係る基準の遵守	解体に係る書類の届け出	○
NOXPM法	規制区域への乗入は基準内の車両	乗り入れ時は車両確認	乗り入れ実績なし
フロン排出抑制法	バックホウのエアコンの簡易点検	3か月に1回以上	○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

3. 苦情等の有無

近隣住民からの苦情も過去3年間ありませんでした。

評価年月日
代表取締役

令和7年4月10日
会 沢 光 男

事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策

想定のパターン	想定される事故及び緊急事態	原因	対応策
パターン1	アルミ缶選別機のベルトに手足が巻き込まれる	選別機を作動させながら積込をする	積込の際には選別機を停止する
パターン2	運搬時の地震による交通事故	急ブレーキによる追突と被追突	周囲の状況に対応した冷静な判断による運転

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2024/10/10	アルミ缶選別機のベルトに手足が巻き込まれる	選別機を作動させながら積込をする	◎選別機を停止してから積込む ◎ベルト付近に人がいないことを確認してから作動させる
※評価と改善策 忙しい時にコンベアを回しながら積込込をしたくなるが、積込が終わってからスイッチをいれる。 スイッチをいれる時には声掛けと目視による安全確認をすること。 時間を惜しまず安全第一で作業することを周知し、全員で確認した。			
訓練日	想定される緊急時の状況	訓練の趣旨	対処・訓練等
2024/12/9	運搬時の地震による交通事故	東海地震に備えた訓練	◎揺れを感じたら周囲の安全を確認して停止する ◎KYTによる種々のパターンの確認
※評価と改善策 収集運搬という仕事柄、車に乗務している事が多いので、揺れを感じたら周りの交通に配慮した行動を取れるよう検討・周知しました。 また、避難場所の確認や救命措置の方法を皆で再確認しました。			

代表者による総合評価と見直し

エコアクション21の認証登録を受け、11年が経過した。

エコアクション登録企業として、地域住民の信頼を得ることができ、一般家庭や、企業からのリサイクルに関する相談が増大している。業務が増えると、運搬車の稼働率が多くなるが、適正な車両配置を行い、CO2削減を常に意識して行動し、今後も環境活動を強化できるよう、従業員共々意識統一を図り、よりよい企業へと発展させたいと思う。

指示

- ①CO2削減のために、無駄が無い効率的な作業ができるよう、皆で検討する。また定期的に会議を設ける。
- ②環境経営方針、目標、活動計画、実施体制は継続とする。

令和7年4月10日

代表取締役 会 沢 光 男